



## 第 1 回小中合同人権・防災学習～タウンウォッチング

2 月 3 日(金)の午後、第 1 回目の「相野谷中学校区人権・防災学習」を実施いたしました。これは、防災学習に子どもたちと地域住民と一緒に取り組むことで「人権尊重の地域づくり」を推進することをねらいとした取組です。今回も三重大学より川口 淳准教授を講師としてお招きし、相野谷中学校 1 年生と相野谷小学校 5～6 年生の子どもたちが合同で、大里地区のタウンウォッチングを行いました。



5～7 人の縦割り班 4 グループに分かれ、最初に中学校の図書室で活動内容の確認等を行った後、外に出て、災害が起きた際に「危険な箇所や対策」等を考えながら地区内を歩き、危険箇所や避難場所、防災施設等を確認しながら写真に納めていきました。中には「車イスを利用している方にとって、この場所はどうだろう?」と、中学校に常備しているの車イスを持ってきて、実際に自分たちで確かめるグループもありました。

タウンウォッチング終了後は、再び中学校の図書室に戻り、川口先生から「災害と防災」についてのお話を、プレゼンテーションも視聴しながら聞かせていただきました。川口先生の巧みなお話はとても興味深く、楽しい内容もありましたが、やはり地震や津波、風水害を語る場面では、

- ① 一番大切なことは、災害が起こったときに自分の命を守ること。
- ② 自分が大丈夫なときは、自分より「弱い」立場にいる人たちの命を落とさないために何ができるのかを考えることが大切。



と、子どもたちに力強く訴えてくださいました。

以下に、子どもたちの感想を一部紹介させていただきます。

- ・街を回ってみてブロック塀が多かった。地図にも、同じようなところで坂が急だったり、ブロック塀がたくさんある所が多かった。高齢の人には避難しにくい場所がたくさんあった
- ・地域の人が暮らしやすいように、危ない場所や避難所を紹介して快適に暮らして欲しいと思った。
- ・歩いたところのほとんどが石段やブロックに囲まれており、もし地震が起きたときのことを考えれば、崩れて通れなくなりそうな所が多いと思いました。この地域は高齢者が多く、中には歩けない人や車椅子の人もあるので、危険なところが多いと思いました。

このように、子どもたちにはいろいろな「気づき」があったようです。2 月 20 日(月)には、保護者や地域の方々とのタウンウォッチングと、相野谷中学校体育館で学習発表会を実施する予定です。自分だけでなく、相野谷に住む人々みんなにとっての「学び」となる発表会になってほしいものです。

## 校内駅伝大会～「地域の宝」として見守られて…



天候不順等で延期されていた相野谷中学校の伝統行事「校内駅伝大会」。2月4日(土)、「土曜行事」としてようやく開催することができました。

当日の朝も結構寒かったですが、スタートする頃には風もなく、気温もちょうど良いぐらいに上がり、絶好の「駅伝日和」となりました。

4 チームが、上桐原バス停～阪松原クラブ(2.2km)、阪松原クラブ～平尾井センター(1.3km)、平尾井センター～相野谷小学校(1.4km)、相野谷小学校～深田グラウンド前(2.5km)、深田グラウンド前～南北浦バス停～深田グラウンド前(2.0km)、深田グラウンド前～相野谷中学校(1.7km)の6区間、総距離 11.1 km で競い合いました。

子どもたちは2学期の終わりから、保健体育の授業で、運動場で何回も走り込みをするなど練習を重ねてきました。当日は、一人ひとりが持てる力を発揮し、「チームの思い」「自分の思い」をタスキに込め、アンカーまでタスキをつないで走り抜きました。

以下に、子どもたちの声を一部紹介させていただきます。

- ①全員が完璧な走りをしていたので、今までで最高の駅伝大会になったと思います。
- ②走っている途中も地域の人や保護者の人が応援してくれてとても嬉しかったし、それが走る励みになりました。
- ③自分のチームの前の人が一生懸命走ってくれたおかげで、自分もチームのためにがんばろうと思いました。
- ④たくさんの人たちに応援してもらえて嬉しかったです。チームのためにがんばれて良かったです。来年もみんなで楽しんで走れるようがんばります。

何より「地域の子は地域の宝」という相野谷の方々の思いがあったからこそ子どもたちはあれだけの頑張りを発揮できたのだと思います。「地域の力を子どもたちの生きる力に」…これからも中学校の教育活動へのご支援・ご協力をより一層賜りますよう、よろしくお願いいたします。